

# 模擬国連【夏の会議（実践桐蔭会議）】

## ～初の経験での気づき～

### 1. 活動時期

:2023.8/25～26

3年4組 スミス太誠

3年4組 野村泰生

3年8組 舟津希一

### 2. 参加のきっかけ

:Classiで掲示されていたので、友達とやろうとなった

### 3. 参加した感想

#### ①参加する前と後の変化

参加する前は、「もともと三人のグループ全員で初めてだから楽しもう！」という形で進めていて、そういった軽い気持ちで挑みにいくと初手のアンモデで圧倒され、自分らの意思を周りに伝えることができていませんでした。2日目になると流れも掴んできて、グループで政策を提案したり交渉も助けもあつてできるようになりましたが、経験者や堂々と挑む方にはまだまだ足りなかったです。様々なグループが積極的に取り組んでいて、自分たちはついていけなかったです。

この体験を経て、意欲が本当にある方々はレベルが違ふと感じ、模擬国連でトップに立つ人たちは本当に自分の国の立場を考察し自らの意見を捨てて、大使として躍動して同グループの国々を引っ張って行ってました。全体を通して難しかったけれど、自分もこのように堂々とまとめて中心となり活躍してみたいと思いました。非常に自分たちにとって意味のある時間となりました。

#### ②活動中の面白かったポイント

- ・自分らのグループのオピニオンを通すために勧誘していたり、無理やりどんな手段で使ってそれぞれの状況が優勢となるように試行錯誤していた。
- ・グループの人数が3人だったことを利用して、協力しあつて話し合ったり別々の場所と担当に分かれて効率的に進めたところ
- ・議長が高校2年生でしっかりと話をまとめてられていて、落ち着いて会議を進めていた。

### 4. 今後参加する生徒に向けたアドバイス

:最初は圧倒されたり何をすればいいのかわからないかもしれないけれど、まず一回は経験して気に入ったら続けて、苦手だったら別のことをやればいいと思う。周りの積極性に刺激を誰しも受けると思うので、チャレンジしてみる価値はある。ただし、準備はしておいた方がいい。国連とはそもそも各国で世界の平和を保つために協力するものだから、他国の大使と自分を比較したり勝ち負けという概念を持たなくていいと思う。